

今里川水系 洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



1 説明文
 (1) この図は、今里川水系の河川について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 (2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の今里川水系の河道等の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により今里川水系の河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項

(1) 作成主体	長崎県中央振興局
(2) 指定年月日	令和6年6月21日
(3) 告示番号	長崎県告示第370号
(4) 指定の根拠法令	水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
(5) 対象となる河川	今里川水系今里川（実施区間） 左岸：長崎県諫早市小長井町遠竹1444番1地先から海に至るまで 右岸：長崎県諫早市小長井町遠竹1449番2地先から海に至るまで
(6) 指定の前提となる降雨	流域全体にピーク時の1時間に190.4mmの降雨がある場合
(7) 関係市町村	諫早市、太良町

凡 例
 浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5～3.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 5.0～10.0m未満の区域
- 10.0m以上の区域

浸水想定区域の指定の対象となる河川

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 412」
 「背景図は電子地形図（タイル）を拡大して使用しているため、位置精度は基図に準じます。」

